

指標: 1 COPDの認知度の向上

目標値: 80% H28から調査開始

	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
年次	平成23年度	平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数		1,739
割合		18.9%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- なし。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 -----		
評価困難(新たに設定)		E

指標: 1-① COPDの認知度の向上(男性)

目標値: 80% H28から調査開始

	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
年次	平成23年度	平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数		823
割合		16.9%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- なし。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 -----		
評価困難(新たに設定)		E

指標: 1-② COPDの認知度の向上(女性)

目標値: 80% H28から調査開始

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数		916
割合		20.7%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- ベースライン値がないため分析不可。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- なし。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 評価困難(新たに設定)		
		E

指標: 2-① 成人の喫煙率の減少(男性)

目標値: 20%

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	703	772
割合	30.6%	27.9%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.129
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し2.7ポイント減少したが、有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.138)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- なし。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- ○年代別でみると、20歳代の喫煙率が42.4%(H23)から32.9%(H28)に9.5ポイント減少した。40歳代の喫煙率が43.3%(H23)から34.7%(H28)に8.6ポイント減少した。 ○平成27年国民健康・栄養調査では、全国の喫煙率の状況は32.2%(H22)から30.1%(H27)に2.1ポイント減少した。沖縄県の減少幅(Δ2.7ポイント)が大きい。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 変わらない(※改善したが有意でない)		
		C

指標:2-② 成人の喫煙率の減少(女性)

目標値: 5%

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	772	877
割合	7.8%	9.2%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.154
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し1.4ポイント増加したが、有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.154)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- なし。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- ○年代別でみると、20歳代の喫煙率が4.2%(H23)から12.2%(H28)に8.0ポイント増加した。40歳代が9.4%(H23)から10.1%(H28)に0.7ポイント増加、70歳代が0.5%(H23)から4.7%(H28)に4.2ポイント増加した。 ○平成27年国民健康・栄養調査では、全国の喫煙率の状況は8.4%(H22)から7.9%(H27)に0.5ポイント減少に対して、沖縄県の増加(1.4ポイント)した。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 変わらない(※悪化した有意でない)		C

指標:3 妊娠中の喫煙をなくす

目標値: 0%

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年乳幼児健康診査報告書	H28年乳幼児健康診査報告書
調査人数	13,904	14,924
割合	4.6%	3.0%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.000
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し1.6ポイント減少し、有意に減少した。 (片側P値=0.000)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- 小児保健協会のH28乳幼児健康診査報告書は南城市、南風原町は受託外のため含まない。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- なし		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 前期目標は達成していないが、有意に改善している。		B

指標: 4-① 両親の喫煙率(1歳6ヶ月)(父親)

目標値: 減少

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H24年乳幼児健康診査報告書	H28年乳幼児健康診査報告書
調査人数	13,604	13,544
割合	42.3%	39.8%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.000
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 直近実績値はベースライン値に比較し2.5ポイント減少し、有意に減少した。 (片側P値=0.000)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 小児保健協会のH28乳幼児健康診査報告書は南城市、南風原町は受託外のため含まない。		
(3)その他データ分析に係るコメント 年代別の内訳 □~19歳:51.9%(13人/27人) □20-29歳:50.0%(1,421人/2,843人) □30-39歳:38.7%(4,680人/7,635人) □40-49歳:33.2%(889人/2,676人) □50歳~:29.5%(71人/241人) □不明:29.5%(36人/122人)		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 前期目標を達成し、有意に改善している。		
		A

指標: 4-② 両親の喫煙率(1歳6ヶ月)(母親)

目標値: 減少

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H24年乳幼児健康診査報告書	H28年乳幼児健康診査報告書
調査人数	14,176	14,159
割合	7.9%	6.6%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.000
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 直近実績値はベースライン値に比較し1.3ポイント減少し、有意に減少した。 (片側P値=0.000)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 小児保健協会のH28乳幼児健康診査報告書は南城市、南風原町は受託外のため含まない。		
(3)その他データ分析に係るコメント 年代別の内訳 □~19歳:9.9%(9人/91人) □20-29歳:12.1%(461人/3,822人) □30-39歳:4.5%(387人/8,563人) □40-49歳:4.2%(67人/1,577人) □50歳~:0.0%(0人/12人) □不明:9.6%(9人/94人)		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 前期目標を達成し、有意に改善している。		
		A

指標:5-① 未成年の喫煙をなくす(男性)

目標値: 0%

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	55	49
割合	1.8%	0.0%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.157
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。		
直近実績値はベースライン値に比較し1.8ポイント減少したが、有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.157)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。		
○県民健康・栄養調査のデータソースは、15-19歳となっており、15歳以下のデータがない。また、調査人数が少ないため変動が大きい。		
(3)その他データ分析に係るコメント		
○健康日本21(第2次)の現状値(H22)は、中学1年生男子 1.6%、高校3年生男子 8.6%。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。		
変わらない(※目標を達成しているが、有意でない)		C

指標:5-② 未成年の喫煙をなくす(女性)

目標値: 0%

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	50	40
割合	2.0%	0.0%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.156
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。		
直近実績値はベースライン値に比較し2.0ポイント減少したが、有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.156)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。		
○県民健康・栄養調査のデータソースは、15-19歳となっており、15歳以下のデータがない。また、調査人数が少ないため変動が大きい。		
(3)その他データ分析に係るコメント		
○健康日本21(第2次)の現状値(H22)は、中学1年生女子 0.9%、高校3年生女子 3.8%。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。		
変わらない(※目標を達成しているが、有意でない)		C

指標:6 喫煙(や受動喫煙)の健康影響に関する知識を持つ人の割合

目標値: 増加

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	11,052	12,161
割合	67.9%	69.0%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.036
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。		
直近実績値はベースライン値に比較し1.1ポイント増加し、有意に増加した。(片側P値=0.036)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。		
なし。		
(3)その他データ分析に係るコメント		
○調査人数は、7つの病気別の設問の回答者を合計した延べ人数 ○H23の評価指標の67.5%は無回答の者も母数に含めていたため、無回答の者を除いて67.9%へ訂正し、指標として扱っている ○年代別で見ると、男性の20歳代が65.5%(H23)から76.1%(H28)に10.6ポイント増加、50歳代が68.6%(H23)から73.0%(H28)に4.4ポイント増加した。女性は、15-19歳が67.1%(H23)から71.1%(H28)に4.0ポイント増加、30歳代が72.0%(H23)から74.9%(H28)に2.9ポイント増加、40歳代が74.4%(H23)から80.1%(H28)に5.7ポイント増加した。 ○全国との比較について、国民・健康栄養調査においてH21以降調査は行われていない。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。		
前期目標を達成した。		A

指標:7-① 喫煙者のうち禁煙しようと思う者の割合(男性)

目標値: 増加

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	215	216
割合	74.4%	61.6%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.002
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。		
直近実績値はベースライン値に比較し12.8ポイント減少し、有意に減少した。(片側P値=0.002)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。		
なし。		
(3)その他データ分析に係るコメント		
○年代別で見ると、男性が60歳代を除く全ての年代で減少した。特に20歳代の85.7%(H23)から55.1%(H28)に30.6ポイント減少、50歳代の81.6%(H23)から63.4%(H28)に18.2ポイント減少、70歳以上の77.8%(H23)から42.9%(H28)に34.9ポイント減少で減少幅が大きい。 ○過去4期連続(H10、H15、H18、H23)で割合は増加していた。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。		
悪化した		D

指標: 7-② 喫煙者のうち禁煙しようと思う者の割合(女性)

目標値: 増加

年次	ベースライン時 平成23年度	中間評価時 平成28年度
調査名	H23年県民健康・栄養調査	H28年県民健康・栄養調査
調査人数	60	80
割合	81.7%	75.0%
片側P値(vs.ベースライン時)	-	0.168
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し6.7ポイント減少したが、有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.168)		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- なし。		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- ○年代別でみると、女性は40歳代を除く全ての年代で減少した。特に30歳代の82.4%(H23)から63.2%(H28)に18.4ポイント減少で減少幅が大きい。 ○過去4期連続(H10、H15、H18、H23)で割合は増加していた。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 変わらない(※悪化したが無意味でない)		
		C

指標: 8 禁煙外来(診療)受診者数

目標値: 増加

年次	ベースライン時 H23年	中間評価時 H27年
調査名	健康増進課調べ	健康増進課調べ
人数	5,276	4,911
片側P値(vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し365人減少した。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- 特になし		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- ○初回受診者のみの値(禁煙に成功せず再度受診者は含まれていない) ○34歳以下の禁煙外来の要件緩和はH28の診療報酬改定から。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 悪化している		
		D

指標:9 禁煙施設認定推進制度の施設数の増加

目標値: 増加

年次	ベースライン時 H25.3月末現在	中間評価時 H29.3月末現在
調査名	沖縄県禁煙施設認定推進制度	沖縄県禁煙施設認定推進制度
施設数	938	1,598
片側P値 (vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し660施設増加した		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- 特になし		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- 参考:【沖縄県禁煙施設認定推進制度(健康増進課調べ)】 ○認定数は、[H25.3]938施設→[H29.3]1,598施設(70%増)となっており、施設種別では、学校等が[H25.3]353施設→[H29.3]735施設(108%増)、医療機関が[H25.3]246施設→[H29.3]300施設(22%増)、その他[H25.3]149施設→[H29.3]264施設(77%増)の順で認定数が多い。 他は、飲食店[H25.3]93施設→[H29.3]171施設(83%増)、官公庁[H25.3]87施設→[H29.3]110施設(26%増)、宿泊施設[H25.3]10施設→[H29.3]18施設(80%増)。 ○区分別では、敷地内禁煙施設:[H25.3]487施設→[H29.3]936施設(92%増)、敷地内禁煙施設:[H25.3]450施設→[H29.3]662施設(47%増)となっている。 ○制度当初に設定していた分煙施設については、H24.4.1から区分を廃止し、敷地内及び施設内への変更、または変更できない場合は取り消しとしている。		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 前期目標を達成している。		
		A

指標:10 禁煙外来(診療)実施医療機関数の増加

目標値: 増加

年次	ベースライン時 H23年	中間評価時 H28年
調査名	九州厚生局調べ	九州厚生局調べ
医療機関数	147	173
片側P値 (vs.ベースライン時)	-	-
(1)直近実績値に係るデータ分析 ・直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか分析。 ----- 直近実績値はベースライン値に比較し26機関増加した。		
(2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 ----- 特になし		
(3)その他データ分析に係るコメント ----- -----		
(4)中間評価 ・中間評価値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 ----- 前期目標を達成している。		
		A